

## プロジェクト情報

- 国名：スーダン
- 事業名：ダルフル3州における公共サービスの向上を通じた平和構築プロジェクト（技術協力プロジェクト）
- 協力期間：2015年から2019年
- 相手国機関：連邦行政委員会

## 1. プロジェクトの背景・概要

ダルフルは10年以上に亘る紛争により、大量の難民、国内避難民（Internally Displaced Person: IDP）が発生し、今も多くの人びとがIDPキャンプでの生活を余儀なくされています。IDPの帰還と再定住のためには、基礎的な社会基盤（給水・道路など）の整備や社会サービス（保健医療、教育など）の提供、生計手段の確保が急務となっていますが、紛争の影響で州政府の能力は極めて弱く、住民に対して十分な行政サービスが提供できていません。そこでJICAは、ダルフル3州で、雇用、保健、給水分野を対象とした、州政府の行政サービス実施能力の向上を支援するプロジェクトを開始しました。

## 2. ジェンダー視点に立った取り組み

紛争の影響を受けたコミュニティの再建や平和構築の取り組みに女性が参画していくことの重要性は広く認識されています。JICAでもプロジェクトの開始に際しては、地域の社会・経済分析調査を実施し女性のニーズや課題を把握しつつ、以下のような取り組みを行ってきています。

## (1) 紛争の影響を受けた女性たちのエンパワーメント

紛争の影響で家族や資産を失った女性を対象に、技術訓練のみならず、女性たちが起業を行うために必要な知識やスキルを提供する「統合型起業訓練」を実施し、女性たちの経済的なエンパワーメントを支援しています。食品ビジネスの起業に向けた研修では120名が参加しました。研修後の調査では、女性の約8割が実際に起業活動を開始しましたが、中には、菓子製造販売で成功し、コミュニティで菓子作り教室を開き、それを元手に多角的なビジネスを展開する女性も現れています。



起業訓練卒業式の様子

主に女性が水汲みをする人が多いダルフルでは、コミュニティの水委員会に女性メンバーを加えることで、女性の視点に立った給水活動の改善に取り組んでいます。

また、コミュニティにおける保健教育を推進するために、地域の女性たちを「ヘルスプロモーター」として育成する取り組みも進めてきています。さらに女性メンバーの多いコミュニティ保健委員会に対し、コミュニティでの部族・グループ間関係の改善方法を伝え、女性・女兒にとっても安全な地域づくりに向けた取り組みが進められてきています。

## (2) 州行政官の能力強化

本プロジェクトでは、雇用、保健、給水に関わる州政府の行政官に対して、ジェンダー平等に関する研修を行い、ジェンダーの視点に立った行政サービスの実施や普及能力の強化にも取り組んでいます。公共事業のモニタリング時には、女性のニーズや課題への取り組み状況や、女性を含む社会的弱者の包摂状況、さらに女性住民が意見を述べる機会が確保されているかを確認することが重要です。そのため、プロジェクトでは、事業のモニタリング指標に、女性の参画に係る指標も設定し、州政府の行政官たちのジェンダー視点に立った事業のモニタリング・評価能力の向上を支援してきています。

## (3) 地域における平和教育の推進

ダルフルでは「家族や部族が（家財を盗まれるなどの）被害を受けた場合、復讐しない男性を女性が許さない」など、女性が紛争を煽る気風もあることから、本プロジェクトでは女性に対する平和教育の機会を設けています。具体的には、女性の統合型起業訓練において平和教育を実施し、それにより、長年険悪であった隣人との関係が改善したとの事例があります。また、女性組合などを定期的にプロジェクト会議に招き、プロジェクトの方向性や内容について共に考える機会を設けるほか、会議の中で「平和構築セッション」を随所に設け、平和で安全な社会づくりに向けた女性たちの意識向上を支援してきているところです。同セッションには男性も参加し、男性の意識改革のための取り組みも行っています。

## (4) 「女性と平和委員会」の設立

プロジェクトでは、州及び連邦政府の行政官や大学教授などの有識者を組織化し、プロジェクトの活動をジェンダーの視点からモニタリング・監督するための「女性と平和委員会」も立ち上げています。本委員会、プロジェクトによるジェンダー主流化に向けた取り組みの優良事例を収集・分析し、その知見・経験をスーダンの復興政策に反映させていくなど、スーダンの平和構築のプロセスへのジェンダー主流化や、紛争影響地域における和解や信頼醸成の牽引に大きな役割を果たしていくことが期待されています。